

TRIZの中川徹先生と私

2008.06.14

株式会社サイエンスハウス代表

飯箸泰宏

国士舘・慶応義塾・法政・明治大学非常勤講師



1.ご紹介

- 中川 徹先生

大阪学院大学情報学部教授
TRIZの熱狂的普及活動家

- 私（飯箸泰宏）

株式会社サイエンスハウス代表取締役
学生たちの創造力を作ろうとして悪戦
苦闘中。

2. 中川先生の略歴

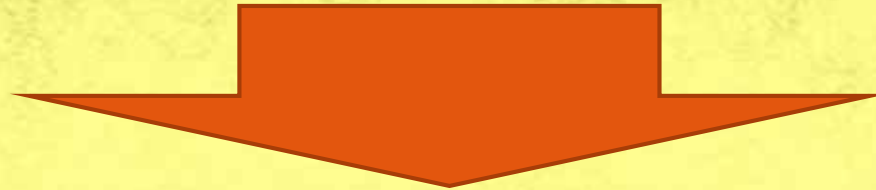
- 1963年に東京大学理学部化学科を卒業
- 同大学院博士課程で学び (1969年理学博士)
- 1967年に東京大学理学部化学教室助手。物理化学の研究, 特に, 高分解能分子分光学の分野で実験と解析を行った。
- 1980年に富士通株式会社に入社し, 国際情報社会科学研究所にて, 情報科学の研究者として, ソフトウェア開発の品質向上の研究などに従事した。
- その後, 同研究所, さらに富士通研究所企画調査室において研究管理スタッフとして仕事をした。
- 現職: 大阪学院大学情報学部教授。1997年5月に初めてTRIIZに接して以来, 当時在職中の富士通研究所においてTRIIZの導入に努めた。
- 1998年4月に現職の大学に移り, TRIIZを日本の産業界と学界に導入することに努力している。
- 1998年11月に公共的なWWWサイト『TRIIZホームページ』を創設し, 編集者を勤めている。

3. 中川先生と私の対比年表

	中川徹先生	飯箸泰宏
1963年	東京大学理学部化学科を卒業	都立足立高校一年生高校（ビートたけしと同級）
1969年	理学博士	東京大学理学部化学科学生
1967年	東京大学理学部化学教室助手	同上
1971年	同上	理工系専門出版社勤務
1978年	「科学者・技術者のためのフォートラン入門」の出版	クビになりかけで担当編集者。危うい人生、幸福なひと時
1980年	富士通株式会社 国際情報社会科学研究所-のち富士通研究所企画調査室	東京大学理学部情報科学科研究生。一年後、株式会社サイエンスハウス設立。中小企業大学校などでシステム系講師
1997年 5月	富士通研究所においてTRI Zの導入に努めた	顧客の大型倒産の連鎖を受けて地に這う日々を体験
1998年 4月	大阪学院大学情報学部教授。同年11月に『TRI Zホームページ』を創設し、編集者	大正大学非常勤講師を兼務。大学の講師業が徐々に拡大。現在は、会社を後進に譲るために汗をかく毎日。
2007年	再会	

4.私の関心

- 企業人も研究者も行政マンも「創造力」なくしては、生きてゆけないはず。

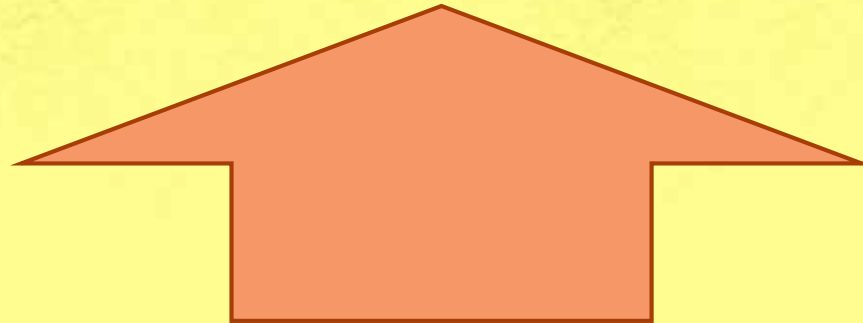


しかし、塾と学校の教育は、
知性なき丸暗記主義を脱していない。

- とりあえず（学生の）創造力の創り方
個人ブログ「心理、教育、社会性の発達」シリーズ」
http://heartland.geocities.jp/mori_biwa/my_blog/my_blog_dokusou01.htm
ミニシリーズ: 心理、教育、社会性の発達「知能を育てる」（全6回）
http://shyosei.cocolog-nifty.com/shyoseilog/2008/03/vsvs55_5870.html

5. 中川徹先生の関心

- TRIZ (「発明問題解決の理論」)
- 「創造的な問題解決の技法」



- 飯箸泰宏の関心と全く同じというわけではありませんが、近くにある領域と認識しています。もちろんもっと専門的な分野です
- 詳しくは、このあとの先生のお話を伺いたいと思います。

中川先生の講演に続く。